

アベノミクスのごまかし

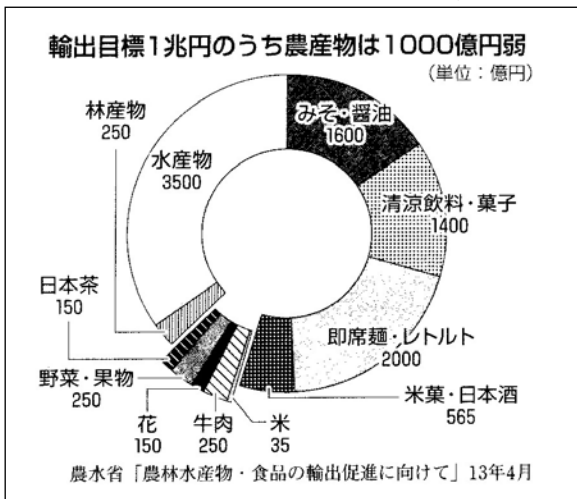
農産物輸出目標「1兆円」は加工食品が半分以上占める

安倍自公政権は、TPPを生かした「攻めの農業」を唱え、「農林水産物・食品の輸出を1兆円にする目標を1年前倒しで達成する」などと吹聴しています。

しかしこれは「ごまかし」です。「輸出目標1兆円」といっても農産物は1割以下(グラフ参照)、半分以上を占めるのが「味噌・醤油」「即席麺・米菓・日本酒」などの加工食品で、5565億円です。原材料に、安い輸入農産物が使われる恐れが十二分にあります。小矢部市の主要な農産物である米にいたっては輸出目標がわずかに35億円、0.35%に過ぎません。

2015年の輸入は6兆5629億円、輸出実績額4431億円(1.5倍)です。この1年での輸出入の増加を比べると輸入は急増し、14年比で輸出の86.2億円増に対し、輸入は3倍近い2406億円も増えています。

輸入農産物には長距離輸送に耐えられるように、収穫した農産物を農薬に付ける残留農薬の問題があります。TPPで輸入農産物が急増したら、食品の安全が脅かされるとともに、日本農業が立ちゆかなくなりそうです。



6月議会報告

個人住宅の耐震化促進を

3500戸

熊本・大分の震災で多くの方が倒壊した住宅に挟まれて亡くなったたり、大けがをされました。命を守るためには、個人住宅の耐震化が重要です。老朽住宅の撤去や建て替えなどにより耐震化率は2013年には64%で、10年間で16%改善されたが、耐震化が必要な家屋数は3500戸もありません。耐震診断は2005年度から2015年度までの間に73件、耐震改修は7件でした。耐震シエーター等については現在のところ実績はありません。

県内の米の産出額3年で115億円減少

6月議会で砂田議員はこの問題を取り上げました。市は農業分野の現状を次のように報告しました。

産業建設部長 小矢部の主要な農産物について、富山県全体の産出額の推移は、農林水産統計年報によると次の通りだ。米の産出額115億円減は、価格減少のため(表参照)。

後継者問題では、青年就農給付金による新規就農者の確保や、就農支援を行う「農の雇用事業」、富山農業未来カレッジなどを実施して

農業産出額の推移(単位: 億円)

品目	2012年	2014年	増減
米	492	377	-115
麦	4	4	0
豆	9	12	3
鶏卵	38	40	2

後継者問題の決め手は農産物価格

砂田市議 米価下落が続いていたら若い人に跡を継いでくれと言えない。いまは集落営農によって、働き手がいなくなった農家をなんとか力

「自分の子どもや孫に継いでくれと言えない」深刻な状況だ。米価下落の問題を何とかしなければ、後継者問題の見通しは立たない。

改修工事等の相談窓口

砂田市議は耐震化促進のために次の提案をしました。

費用の少ない耐震シエーター等の活用

砂田市議 就寝中の被害を防ぐためにも、費用の少ない耐震シエーター、耐震ベッド設置などの補助(補助率1/2、上限60万円)の活用も有効だ。この補助を受けたあとも、将来耐震改修を行うときにあらためて耐震改修支援事業を使えるのか

住宅リフォーム助成の機会に耐震化促進を

産業建設部理事 安全性の確保、建物の耐震化率の向上の観点から有効であり、補助金の支援対象となる。

産業建設部理事 耐震補強については下水道接続など住宅リフォーム時などにあわせて工事される場合も考えられる。本市では耐震改修工事の他にも、三世代

学童保育の終了時間延長を

砂田市議 家族の勤務先が遠く、6時頃まで子どもを迎えに出来ないという方から、相談を受けた。午後7時頃までの時間延長を実現できないか。

二ノズ調査をしたうえで検討したい 民生部理事

民生部理事 平成19年に大谷放課後児童クラブを拠点として終了時間を1時間延長したが、当時は利用希望者がいな

同居リフォームや転入者リフォームなど住宅に関するさまざまな助成制度がある。これらの併用も可能となっている。この助成制度をまとめたリーフレットを現在作成中

であり、今後広く市民の皆様にお知らせする予定にしている(7月の市報と一緒に班回覧

された。

